

報告書発刊に当たって

このたび厚生労働省委託事業「平成30年度女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業」に全国医学部長病院長会議の提案が採択されました。事業内容は女性医師等キャリア支援連絡会議を設置し、「女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議」の開催、「女性医師等のキャリア支援策に関する実態調査」の施行、各都道府県の幹事大学による「都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会」による情報収集となります。その目的は全国の大学附属病院や都道府県の公立病院等における女性医師等のキャリア支援策の現状について調査し、実態を把握することによって、既に行われている効果的な支援策を全国へ紹介することにあります。特に実態調査では分院を含む125の大学病院と55の公立病院等から回答をいただき、内容の充実した報告書を作成することが出来ました。各病院関係者におかれましてはお忙しい中、多数の項目であるにもかかわらず回答にご協力をいただきありがとうございました。また、設定期間が短期間であるにも関わらず、地域での連絡協議会を開催していただきました幹事大学にご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

今回の調査結果が、我が国における医師のキャリア支援の前進に寄与することを祈念しております。

全国医学部長病院長会議 男女共同参画委員会
委員長 相原 道子

報告書発刊に当たって

わが国では現在、少子高齢化による生産者年齢人口の減少を受け、「女性活躍の推進」および「働き方改革」が進行しています。労働意欲がある女性の力を十分に活用することが日本社会の繁栄を維持していくために必要であるからです。医師の社会でも、労働時間の短縮と労働条件の改善、多様な就業形態の普及、仕事と生活の両立が可能となれば、多くの女性医師は今よりさらに活躍できるでしょう。

本事業では、女性医師が働きやすい労働環境の整備、すなわち、長時間労働の是正、多様な勤務形態の導入、育児に関するサポート体制、さらにキャリア形成支援、一旦離職した女性医師の復職支援などについて、優れた取り組みを全国会議で共有し、個々の施設の取り組みを調査し分析し、都道府県連絡協議会で意見を出し合い協議しました。全国の女性医師等のキャリア支援の担当者が一同に会し、議論を開始できたことは大きな前進であったと思います。

本報告書には、関係者皆様のご協力により達成できた1年の活動がまとめられています。どうぞ、参照資料として活用いただき、平成31年度から本格化する「働き方改革」を追い風として、それぞれのご施設での女性医師等のキャリア支援をさらに進めていただきたくお願いいたします。

全国医学部長病院長会議 男女共同参画委員会委員
女性医師等キャリア支援連絡会議
座長 唐澤久美子